

◎平成30年度のスタートに向けて

なかなかワークも設立以来 16 年目を迎え、種々の活動も定着してきています。その一方で、会員も高齢化し、新たな活動に取り組むための体制作りや人材の確保などの新たな課題が出始めてきました。各地では持続可能な社会に向けた種々の活動が展開されてきています。ひたちなか市においても昨年「ひたちなか市第2次環境基本計画」が策定され、その中に「環境学習推進事業」が掲げられ、市民や事業者の意識啓発への取組が掲げられています。

なかなかワークの昨年度の活動を振り返って見ますと、活動の主体であるIT活動ではWindows10対応やスマホ、タブレットの対応など新たな活動が始まっています。「Maple(メイプル)」の活動では子育て中の女性が参加できるような講座や市外での講座なども行いました。教育支援では茨城高専での学生の就職準備のためのキャリア教育を担当し、会員の持っている豊富な経験を生かし就職先への自己PRの仕方や模擬面接で面接の受け方などを指導しました。また、第9回を迎えた「青少年のための科学の祭典ひたちなか大会」では、入場者が2日間で1万人以上と盛況でした。会場では子供たちの笑顔からも、ものづくりのまちであるひたちなか市の明るい未来が垣間見られるようでした。

平成30年度の活動は、持続可能な消費への市民活動の展開などに向け新たな視点から「安心して住みよいまちづくり」に向けて、思いを同じくする人達と連携して会員の持っている知恵と情熱を最大限に生かし、以下の3つの活動目標を掲げ取組みたいと思います。

1. **情報発信の強化**：会員の持っている得意技を共有化し、インターネット等を使用したユニバーサルな情報発信により地域の人達との情報交流を深め、全員による活動の拡大を図る。
2. **活動の見える化**：Mapleなどの顔の見えるコミュニティ活動を通して、子育て中の女性の講座など地域活動との連携を図る。
3. **地域ニーズに沿った推進の拡大**：科学の祭典など各種イベントを通し、地域ニーズの掘り起こしと持続可能な消費と生産など環境に優しく住みよいまちづくりへの展開を図る。

代表理事 市毛修

☆トピックス☆

1. Maple 活動

Maple は、昨年笠間市公民館からの依頼で笠間市内の3館(笠間・友部・岩間)でパソコン講座を開催しました。ワードやエクセルを中心に、実施する時期などによって初級や中級など内容を工夫しながら開催しました。週末の午前中2時間という限られた時間の中で、便利さや楽しさを感じていただけるようメンバー間で話し合いながら進め、「楽しかった」「また受講したい!」と喜んでいただけるような講座を目指しています。パソコンのほかに、スマホやタブレットの普及もあり、使い方が多様化していますが、その変化に対応しつつ、今後も苦手意識を持っている方の気持ちを前向きに変えられるような講座運営をしていきたいと思っています。(津久浦)

2. 茨城高専キャリア教育支援

11月から始まった学生の就職準備のためのキャリア教育が1月に終了し、メンターと担任の先生方との懇談会が3月27日に行われました。先生方の指導で参加者が増えた反面、一人当たりの指導時間が短くなった関係で十分な指導ができませんでしたが、その中でも前向きに取り組んだ学生の成長が著しかったことが成果でした。(高島)

☆総会・会員交流会の案内☆

1. 日時： 平成30年5月26日(土) 13:30~17:00

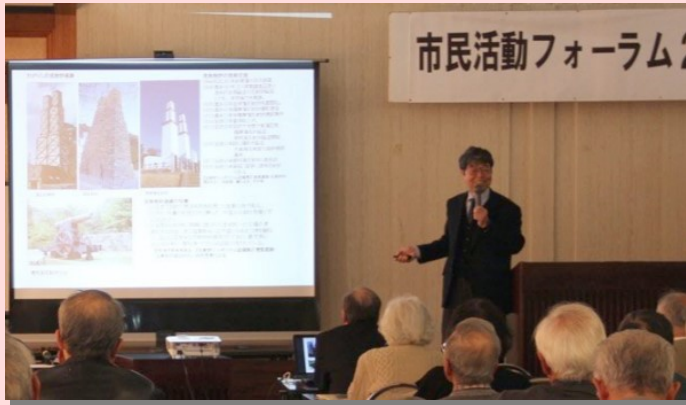
13:30~13:40 代表挨拶 / 13:40~13:50 市長挨拶 /

13:50~14:20 総会 / 14:20~15:20 講演会(茨城大学野田准教授)(裏面) /

15:20~17:00 交流会(会費¥2,000)

2. 場所： ひたちなか商工会議所 300号室 ひたちなか市勝田中央14-8 [TEL:029-273-1371](tel:029-273-1371)

～ふるさとの海岸線をめぐる歴史と風土～



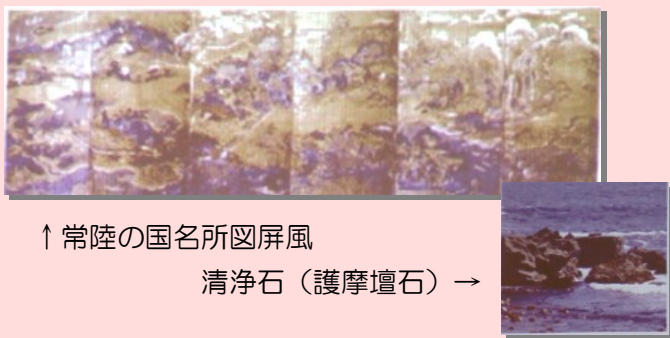
講師：

茨城工業高等専門学校 客員教授

鴨志田 篤二氏

2月20日（火）、ワークプラザ勝田で「歴史が教えるまちの魅力 未来に伝えよう！」をテーマに、市民活動フォーラム2018が開催され、その中で講演いただきました内容を紹介します。

昨年、宮城県の奥州市で「常陸の国名所図屏風」と名付けられた屏風（一隻六扇）があることが紹介されました。近世の常陸の国の景観を太平洋側から見た形で描いた名所絵地図で、平潟から銚子までの海岸が連続的に描かれており、奥に筑波山や袋田の滝が描かれた、当時の常陸の国を知るための大変貴重な絵図です。中央付近に那珂湊があり、生活している人も全体で約1650人描かれた精緻な描写になっています。制作の年代については、元禄3年に再興された大洗磯崎神社があり、また元禄11年に建造された賓賓閣がないので、この間の制作と考えられています。



↑常陸の国名所図屏風

清浄石（護摩壇石）→

～元気な地域と国連 SDGs～



講師：

茨城大学人文社会科学部

野田真里 准教授

東京大学大学院総合文化研究科・准教授を兼務 開発経済学、社会政策をベースに、国際開発、地域開発、社会開発等を専攻。国際開発学会「持続可能な開発とSDGs」(JASID-SDGs)代表。国連 SDGs×イバラキ顧問。

講演では、地元茨城県の地域が元気になるための課題や取り組みについて、全世界が取り組む、持続可能な開発目標 (SDGs) の観点からお話しいたします。講師の詳細は[野田真里研究室](#)で検索してください。

- 日時：**平成30年5月26日(土)14:20～15:20**
- 場所：**ひたちなか商工会議所 3F会議室(300)**
ひたちなか市勝田中央 14-8
- 対象者：**一般市民、学生**
- 参加費：**無料(自由参加)**
- 主催：**NPO 法人 なかなかワーク**
- 問合せ先：**事務局(029-264-2488)**

この絵には平磯海岸にある清浄石（護摩壇石）も描かれています。周りの石が白亜紀時代の断層を示す斜めの形なのに、この石だけ真四角の形で上部の中心に円座があります。阿字ヶ浦の地名はこの護摩壇石からの由来です。「阿字」とは梵字の基本で、この場所で儀式が行われる大切な場所であることを意味します。清浄石と名付けたのは徳川光圀公です。近くの堀出神社も光圀公が塚を掘り起こした際、御神体が出土されたことにより名付けられました。姥の懐も光圀公の命名です。この地域は光圀公との繋がりが深いことを示しています。名所図屏風も何らかの繋がりがあってもいいかもしれません。
(高島記)

☆ 会員募集 ☆

なかなかワークでは新規会員を募集しています。

今までの経験や知識を地域の活性化に役立てたいと思っている方。地域で新しい出会いによる新しいビジネスを始めたいと思っている方。なかなかワークの趣旨に賛同し、ご支援いただける方。地域で新しいネットワークをつくりたいと思っている方。ひたちなか市民以外でも参加できます。学生、SOHOの方の入会も歓迎します。

会費は、正会員 年6,000円 準会員・学生会員 年3,000円です。

*正会員は当団体の運営・活動に参加する方、準会員は当団体からの情報を受ける方です。

お問い合わせ、お申し込みは事務局までお願いします。(Tel.029-264-2488)